

食品ロスを削減しよう！

まだ食べられるのに廃棄されてしまった食品のことを「食品ロス」といい、日本では年間 464 万トン*も発生しています。また、食品ロスの半数近くが家庭から発生していると言われています。「もったいない」のころを大切に、それぞれができることから食品ロス削減に取り組んでみませんか？（環境課ごみ減量係Tel 83-8126）

※令和 5 年度環境省推計値

今日からできる！食品ロスを削減する方法

買い物時に実践！

・ 買いすぎを控える

冷蔵庫の中身を確認し、必要なものをメモして買い物にいきましょう。



・ 陳列された順に買う（手前どり）

すぐに食べる商品は、賞味期限や消費期限の長い商品を選択するのではなく、手前に陳列された商品から購入しましょう。

調理時に実践！

・ 料理を作りすぎない

食べきれない量の調理を心がけましょう。

・ 食材を上手に使い切る

野菜や果物の皮をなるべく薄くむくようにしましょう。また、食材が余ったときには使い切りレシピを検索してみましょう。



外食時に実践！

・ 注文しすぎない

小盛やハーフサイズメニューがある場合は積極的に活用し、食べきれない量を注文しましょう。



・ とちぎ食べきり 15（いちご）運動

飲み会や食事会などの際には、開始後と終了前のそれぞれ 15 分は食べることに集中し、料理の食べ残しがないように心がけましょう。

保存時に実践！

・ 冷凍などでの保存を検討

食べきれなかった食品については、冷凍などの傷みにくい保存方法を検討しましょう。



・ 保存した食品の把握

保存している食品を忘れてしまわないように、冷蔵庫の中の配置方法を工夫しましょう。

フードドライブにご協力ください！

フードドライブとは、家庭などで余った食品を持ち寄り、地域の福祉団体や施設、フードバンク等に寄贈する活動のことです。10 月は食品ロス削減月間として市役所で食品の受付を実施します。ご家庭で食べきれない食品がございましたら、ぜひご協力をお願いします。

【実施期間】

令和 8 年 10 月 1 日（木）～ 10 月 30 日（金）
※土日祝日を除く

【受付場所】

市役所本庁舎 2 階 環境課窓口
二宮コミュニティセンター内 二宮支所

【受付時間】

午前 8 時 30 分～午後 5 時まで



市 HP
ID 22068

受付できる食品

- ・ 未開封のもの
- ・ 常温保存できるもの
- ・ 賞味・消費期限が明記されていて期限まで 2 カ月以上あるもの

<注意> 下記の食品は対象外です

- ・ 開封されているもの
- ・ 生鮮食品（肉、魚、野菜など）
- ・ 酒類



左から、飯塚耕平さん、野澤圭佑さん、中村市長、磯一弘さん



保坂晴彦さん、中村市長



贈呈式
8.7（金）

令和 8 年熊本地震災害義援金贈呈式
真岡造園協会

真岡造園協会から、令和 8 年熊本地震災害義援金の寄附（寄附額：10 万円）がありました。磯一弘会長、副会長の久保卓一さん、飯塚耕平さん、会計の野澤圭佑さんが市役所を訪れ、中村市長へ手渡しました。野澤さんは「被災された方々のために義援金を寄附しました。この義援金を届けてもらい災害復興に役立てていただきたい」と願いを述べられました。

活動
8.20（木）

友好都市ハーヴィー市とつながる友好の輪
高校生オンライン交流会

海外友好都市であるオーストラリア・ハーヴィー市の高校生 5 人と真岡市の高校生 4 人がオンラインで交流しました。お互いの都市や文化についての紹介や、自己紹介、趣味の話などを英語で話し合い、国際的な視野を広げる貴重な機会となりました。

贈呈式
8.21（金）

令和 8 年熊本地震災害義援金贈呈式
仙波糖化工業(株)

仙波糖化工業(株)から、令和 8 年熊本地震災害義援金の寄附（寄附額：300 万円）がありました。代表取締役社長の保坂晴彦さん、管理本部長の市川剛久さんが市役所を訪れ、中村市長へ手渡しました。保坂さんは「被災された皆さまへの支援の一助となると思い、義援金をお持ちしました。被災地の復興を心よりお祈り申し上げます」と願いを述べられました。

表敬訪問
8.28（金）

第 25 回全国こども陶芸展 in かさま
文部科学大臣賞受賞表敬訪問

真岡小学校 2 年生の海老原大晴さんが、第 25 回全国こども陶芸展 A 部門（小学 1～3 年生）で文部科学大臣賞を受賞しました。縄文土器をモチーフに太陽のイメージを加えた作品が高く評価されました。



「たいようの土器」